

《心電図お助けします！》

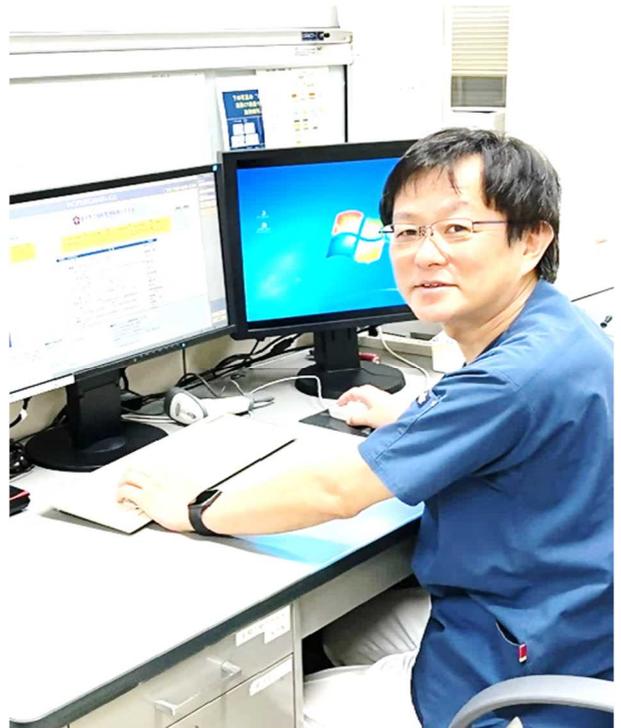
地域連携室長 兼 副院長 村井 久純

本年5月より、FAXによる心電図相談を行っています。いくつかの症例での相談がありましたが、まだまだ、当初の予定ほど浸透しておりません。登録医の先生方にはぜひご利用いただきたいので、改めてご案内させていただきます。この心電図相談はまったく敷居は高くないので、どんな心電図でも相談していただければありがたいと思います。

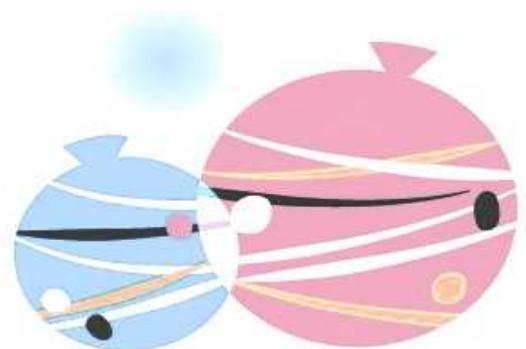
近年、循環器診療においては、心不全のステージが進行していない状態、前心不全状態（Pre heart failure）からの治療の有用性が強く推奨されています。大変難しいのですが、呼吸困難や浮腫が出現する前に、心臓の器質的または機能的障害が存在することを的確に診断することが重要となってきます。最終的には、心筋バイオマーカー（BNPやトロポニンIなど）、心エコーや心臓カテーテルが必要となってきますが、当院では、心電図でのスクリーニングの重要性に着目しています。心電図には、虚血、電導障害、左室肥大や弁膜症による異常が反映されることが多々あります。

普段からの、1枚1枚の心電図だけでなく経時的な変化でも、見つけ出すことができますので、是非、一度、ご連絡いただければ幸いです。FAX送信は、ペーパーレスの時代においては、繁雑です。現在、心電図のデジタル化送信を進行中でありますので、開始となりましたら再度ご連絡させていただきます。

それでは、ちょっと聞いてみたいくらいの気持ちでFAXして下さってよろしいのでお願いいたします。



地域連携室FAX番号：076-245-2693



《新規登録医のご紹介》

いかわ皮膚科クリニック

このたび金沢市四十万で皮膚科クリニックを開院しました伊川です。私は、2002年に金沢大学を卒業し、その後は主に金沢大学附属病院や金沢赤十字病院などで勤務しておりましたので、金沢市立病院や関連施設の皆様には地域医療を通してお世話になった方も多いかと存じます。今年5月に開業したばかりでまだまだ慣れない毎日ですが、赤ちゃんから100歳近くの患者さんまで



幅広い年齢の患者さんが受診してくださり、新しいご縁に感謝しています。

皮膚・毛髪・爪などのお困りごとがありましたら、お気軽にご相談ください。今後は少しでも地域医療に貢献できるよう頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

いかわ皮膚科クリニック 伊川友香

きのした内科・循環器内科クリニック



2024年5月、西金沢の地に「きのした内科・循環器内科クリニック」を開業致しました。卒後16年目の木下 正樹と申します。開業して2ヶ月程度経過しました。これまで、金沢大学病院、富山県立中央病院、金沢有松病院などで勤務してきました。

開業すると今まで当たり前のように撮影していたCTやMRIをオーダーすることができなくなり、一抹の不安を感じておりました。しかし、先日、CT検査を金沢市立病院に画像検査依頼したところ、30分程度ですぐに終了し、患者様がすぐ終わったと喜んで帰ってきました。非常に助かっております。さて、当院では循環器内科医療はもちろんのこと、幅広い内科疾患に対して、「かかりつけ医」として、地域に信頼されるクリニックを目指しております。循環器内科としては、心臓エコー、胸部Xp、負荷心電図などを軸に、心不全、虚血性心疾患、不整脈などの様々な循環器疾患の早期発見に努め、病院の先生方からの紹介での慢性期外来フォローもさせていただきたいと存じます。また、心臓病、肺疾患のリスク管理の一環として、「禁煙外来」、「睡眠時無呼吸外来」もしております。また、これまで循環器内科医としては比較的多くの糖尿病患者様を診てきた経験があります。生活習慣病を含めた患者様のリスク管理、健康管理にも力を入れており、HbA1cの迅速検査も院内で可能になっております。さらに、感染症に対しても、発熱外来の専門室を設け、昨今のCOVID-19流行期にも率先して検査・治療できるような体制を整えております。患者様は様々な社会的背景をお持ちの方が多く、多数の問題を抱えております。当院の使命としては、患者様を直接治療することはもちろんのこと、医療の「道しるべ」となるべく、必要な時期に専門病院への紹介をさせていただき、金沢市の医療の歯車の一部となること出来るよう日々、勉強、精進する次第です。

きのした内科・循環器内科クリニック 木下 正樹

《まちなかサロンを開催しました》

コロナ禍で中止していたまちなかサロンを、4年ぶりに再開しました。記念すべき第1回のまちなかサロンは、6月21日に事業管理者の高田医師が「健康な生活を楽しく送ろう」をテーマに講演しました。食事と肥満の考え方や、サルコペニアの簡易指標となっている指輪っかテストなども行い、「どんどん太りましょう！」や「一番良いのは小太り！」など、悪意のあるマスコミに切り取られるとヤバいのでは！？とヒヤリとする場面もありながら、それでも参加者との距離感が非常に近いからこそ許される高田節全開の内容で、参加した地域の60名以上の方からは時折笑い声がこぼれるなど、アットホームな雰囲気で行われました。

第2回は7月5日、「子宮頸がんは予防できます」というテーマで産婦人科の金谷医師が担当し、ワクチン接種と検診の大切さを丁寧に説明されていました。HPVワクチンのキャッチアップ接種に困んだもので、若年世代の方の参加も見られ、大変うれしい限りでした。

これからも地域の皆様の集いの場となるよう、まちなかサロンを盛り上げていきたいと思えます。かかりつけ医の先生や地域の医療従事者もぜひ講義を一つお願いできないでしょうか。お引き受けいただけるようでしたら、地域連携室までご連絡ください。



《令和6年度開放病床委員会を開催しました》

コロナ禍のため書面で行っていた開放病床運営委員会を3年ぶりに対面で開催いたしました。金沢市医師会会長鍛冶恭介委員長が主催のもと、当院地域連携室長村井医師より令和5年度における当院の開放病床利用実績を報告いたしました。コロナ禍で共同診療を実施している病院が少ないなか、積極的に利用を促す当院の姿勢についてご好評いただきました。

地域の患者様が退院後も安心して再びかかりつけ医で診療を受けられるよう、切れ目ない医療を提供して参りますので、お気軽にご利用ください。



金沢市立病院 地域連携室 〒921-8105 金沢市平和町3丁目7番3号
TEL: 076-245-2626 FAX: 076-245-2693 <https://kanazawa-municipal-hosp.com/>